

# ストマックチューブ 使用上の注意点

阿部

ミルクスペシャリティーズ・グローバルの動画（へそくりくんのブログ）より

ストマックチューブを使用する時とは、

- ・子牛に初乳を投与する。
- ・脱水症状を示した時の経口補液時。



鼻先から、肩（肘頭）の位置までの長さを計ってください。ビニールテープなどで印を付けておくとさらに良いでしょう。だいたいどこまで入っていれば良いかの目安にします。

子牛は後ずさるものです。保定は、角に追いやって、太ももに首を挟み込んで保定します。➡



挿入された場所（食道◎／気管×）を確かめるために触診します。ホース状の気管と、硬いチューブは、明らかに違いが分かるはずです。また、挿入時にチューブ先端の玉を触れるとさらにはっきりするでしょう。通常、食道は気管の左側（向かって右）に位置します。

**この作業が誤嚥防止のキーポイントです！**

牛が横たわった状態で行わないでください（逆流します）。給与時は圧をかけずに自然落下で落としてください。

抜くときは、クランプで留めるか、チューブを折り曲げるかして、チューブ内の液がしたたり落ちないように気を付けてください（“抜く時の誤嚥：ごえん” もあるのです）。